

平成 20 年度「新エネ大賞」応募申請書
 (優秀普及啓発活動部門)

平成 20 年 8 月 12 日

財団法人 新エネルギー財団
 会 長 秋山 收 殿

(申請者)住 所 097-0011
 北海道 稚内市 はまなす 3 丁目 2 番 15 号

団体名等 稚内新エネルギー研究会

代表者名 長谷川 伸 一 印

平成 20 年度「新エネ大賞」に下記のとおり応募申請します。

応募普及啓発活動名 『最北端から最先端へ』 新エネルギーの活用モデルとなる地球環境に優しいまちづくり
--

申請者住所は、本社所在地とし、郵便番号も記載してください。

新エネルギー財団受付

事務局	受付年月日	平成 年 月 日	分類番号	-	-
-----	-------	----------	------	---	---

連絡先	申請団体等の名称	稚内新エネルギー研究会
	担当者の所属部署	事務局
	担当者役職	事務局員
	担当者氏名	南 幸正
	担当者所属部署所在地 電話 ファクシミリ e-mail アドレス	〒 097-0011 北海道 稚内市 はまなす 3 丁目 2 番 15 号 TEL (0162) 33 - 4055 FAX (0162) 33 - 4055 e mail : shineneken@haseken.net
申請団体等の概要（団体区分、設立/認証取得年月、資本金、従業員数、活動概要等）		
1. 団体区分	任意団体としてのまちづくり協議会	
2. 設 立	平成 17 年 3 月 31 日	
3. 目 的	稚内において、地域における新エネルギーの調査・研究を進め地域振興の可能性を希求するとともに、地域の環境に配慮し、稚内市における新エネルギーの普及啓発および環境と経済が両立するまちづくりに資する。	
4. 会員数	(1) 団体会員（稚内市・企業・団体） ... 48 (2) 個人会員 ... 166 (平成 20 年 4 月 1 日現在)	
5. 会 費	団体会員：36,000 円（年額） 個人会員：1,000 円（年額）	
6. 役 員	会 長 長谷川 伸一 （長谷川建設株式会社 代表取締役） 副会長 菅原 耕 （宗谷地方石油業共同組合 理事長） 副会長 石塚 英資 （石塚建設興業株式会社 代表取締役）	
7. 事務局	本 部 ... 稚内市役所総務部地域振興課 事務所 ... 長谷川建設株式会社 内	
新エネ大賞をどちらでお知りになりましたか？		
<input checked="" type="checkbox"/> 新エネルギー財団ホームページ 新エネルギー財団からの募集案内 経済産業局からの案内 自治体からの案内（具体的に：) 関係団体からの案内（団体名：) 新聞、雑誌等記事・広告（媒体名：) その他（具体的に：)		

項目	記入項目	記 入 欄
普及啓発活動について	<p>・普及啓発活動の概要</p> <p>(1) 活動の趣旨</p> <p>(2) 活動の目的</p>	<p>私たちは今地球温暖化など、地球規模で悪化する深刻な環境問題に直面し、しかもその環境悪化のスピードは日々加速しています。温暖化の原因は二酸化炭素などの温室効果ガスとされていますが、その排出削減が緊急の課題となっています。日本は 1997 年の京都議定書では 2008 年からの 5 年間で 1990 年レベルから 6% の二酸化炭素排出削減を約束しています。</p> <p>また本年 2008 年 7 月に行われた G8 主要国首脳会議、北海道洞爺湖サミットにおいて日本は 2050 年までに二酸化炭素排出を半減するというビジョンを表明しました。このように私たちは社会経済活動のあらゆる場所において、温暖化防止に取り組むことが必要になるでしょう。</p> <p>稚内市においても「風のまち」という地域特性を活かした風力発電に取り組むことで、温暖化防止に寄与する新エネルギーの導入を実現し、地球環境に優しいまちづくりを目指してきました。2006 年 2 月には、民間企業が宗谷岬に 57,000kW/h の風力発電施設（宗谷岬ウインドファーム）を稼働させ、日本最大級の風力発電施設として注目を集めました。市内には宗谷岬ウインドファームの 57 基の風車を含む 74 基の風車があり、その総発電量は約 76,000kW/h に達し、稚内市の総需要電力の約 7 割に匹敵するまでになりました。</p> <p>また NEDO 技術開発機構が 2006 年に公募した「大規模電力供給用太陽光発電システム安定化等実証研究」の実証研究施設を稚内に誘致すべく産官学と連携して誘致活動を推進し、北海道電力（株）と稚内市を委託先として誘致を実現しました。</p> <p>このように稚内新エネルギー研究会は、日本最北端のまち稚内において「環境とエネルギーを核としたまちづくり」を目指して活動してきました。地域のエネルギー開発にかかわる産・官・学が関心の高い市民と共に一同に会し、環境とエネルギーに関する情報交換を行うとともに、地域における新エネルギーの積極的な導入を促進し、「新エネルギーの活用モデルとなる地球環境に優しいまちづくり」に貢献していきたいと思ひます。</p> <p>稚内において、地域における新エネルギーの調査・研究を進め地域振興の可能性を希求するとともに、地域の環境に配慮し、稚内市における新エネルギーの普及啓発に寄与することを目的とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新エネルギーに関する情報の収集と発信 ・ 新エネルギーに関する調査研究 ・ 新エネルギー利用に関する情報の収集と発信 ・ 新エネルギー利用に関する調査研究 ・ 新エネルギー利用に関するまちづくりへの提案と実践 ・ 地球環境に関する調査研究 ・ その他前各号の目的を達成するために必要な事業

項目	記入項目	記入欄
普及啓発活動について	(2) 普及啓発活動の概念図	<p>『最北端から最先端へ』 新エネルギーの活用モデルとなる地球環境に優しいまちづくり</p> <h3>事業ロードマップ</h3> <p>環境最先端都市 新エネルギー活用モデルタウン 新エネルギー総合研究施設</p> <p>環境意識の普及啓発活動(セミナー・フォーラム)</p> <p>環境教育の基盤づくり → 新エネルギーへの住民意識の高揚 → 『風のがっこう』推内・センターハウスを建設 普及啓発活動の拠点</p> <p>風のがっこう推内 家庭用燃料電池・小型風車・ソーラーパネルの設置・公開</p> <p>燃料電池+ヒートポンプによる足湯の設置・開放</p> <p>風力発電+燃料電池システムの設置・公開</p> <p>H17 H18 H19 H20以降</p> <p>サハリン 燃料電池社会の採集をまえる意識化 天然ガス資源</p> <p>風力発電所 水を電気分解して水素エネルギーを作る 高の電気エネルギーとして利用</p> <p>推内新エネルギーサテライト(ゲストハウス“氷室”) 燃料電池設備を設置して環境学習の場として公開</p> <p>高谷岬ウインドファーム 日本最北端の地・新技術にそびえる日本最大級の 大規模風力発電基地</p> <p>高谷岬牧場 大規模自然遊歩道 変革型バイオマス エネルギー供給源</p> <p>太陽光発電所 日本最大級の 太陽光発電施設</p> <p>風のがっこう推内 環境・エネルギー学習や自然体験ができる環境研究施設を充実させる</p> <p>地球の宝と人を結び、観光と自然体験に環境学習を加えて地域の魅力を内外に発信し、まちづくりを担う人材育成と情報交換のハブ機能を目指す。</p>

項目	記入項目	記 入 欄
普 及 啓 発 活 動 に つ い て	・普及啓発活動の状況 (1) 報告会・セミナー・フォーラムの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・活動報告会 <ul style="list-style-type: none"> ・会員・市民向けに随時開催 ・環境セミナー <ul style="list-style-type: none"> ・教員向け環境エネルギーセミナー ・環境エネルギーセミナー ・環境教育支援 <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育への環境教育支援 北海道環境財団協力のもと実施 ・フォーラム・シンポジウム <ul style="list-style-type: none"> ・市民環境フォーラム 講師として環境ジャーナリストの枝廣淳子さんを招く



定期報告会(会場: 稚内北星学園大学)



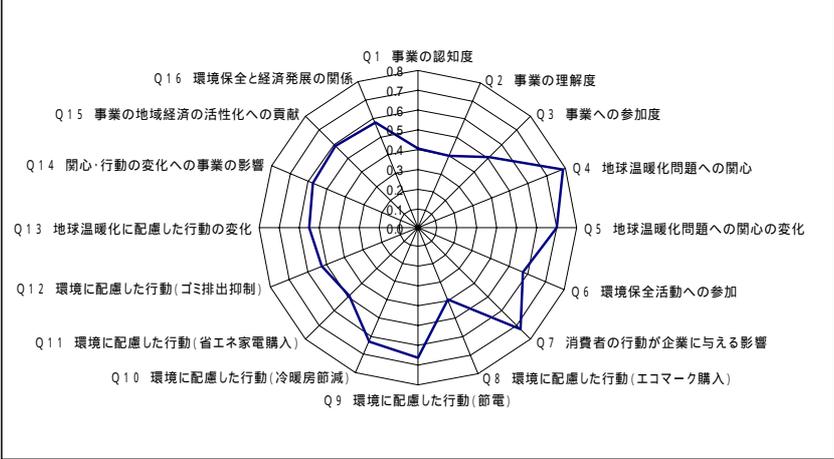
(株)バンテック 鈴木大介氏による燃料電池デモ

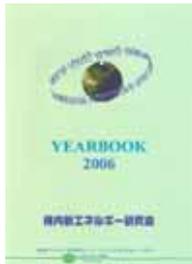
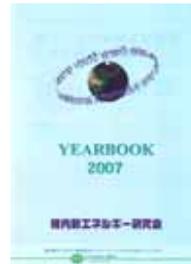


風車製作実習(稚内市立潮見が丘中学校)



パネルディスカッション風景

項目	記入項目	記入欄
普及啓発活動について	<p>(2) 市民参加活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 稚内市と協力した環境教育への取り組み ・ 市民参加型事業の企画運営 ・ 北のてっぺん緑化プロジェクト ・ 「彩北わっキャナイト」企画への協力 ・ 研究会の意思決定への市民の参画 ・ 定期報告会での意見集約 ・ アンケート・ホームページ <div style="text-align: center;">  </div> ・ 市民参加活動への参加・協力 ・ 市民植樹祭 ・ 海浜清掃 <div style="text-align: center;">  <p>北のてっぺん緑化プロジェクト スタッフ一同での記念撮影 (稚内市新光町)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>海浜清掃</p> </div>

項目	記入項目	記入欄
普及啓発活動について	(3) 情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報誌『レラヴィ』の発行 ・ 教育・観光産業との協力と連携。 ・ 地域外への積極的PRへの活用。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>資料1</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>資料2</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>資料3</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットの活用 ・ メールを活用した会員への情報提供 ・ ホームページを活用した迅速かつ簡単な情報の更新と外部との情報交換 ・ 稚内公園新エネルギーサテライトのライブ映像、風況、設置施設等の情報提供 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ パンフレット作成 ・ YEARBOOKの発行。 ・ 新エネルギーと地球環境保全を啓発するパンフレットの作成。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>資料6</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>資料7</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>資料8</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 稚内公園新エネルギーサテライトの運営 ・ 燃料電池及び展示設備を環境学習として利用できるサービス提供。 ・ エコ足湯の運営。 ・ 燃料電池運用データの収集・蓄積・分析。 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p>高橋はるみ道知事と足湯にて</p> </div>

項目	記入項目	記入欄
普及啓発活動について	(4) 調査・情報収集	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナー・研修会への参加 ・国、NEDO、北海道、その他各種団体主催による環境、新エネルギー関連セミナーに参加しての最新情報の収集 <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">NEDO 技術開発機構と経済産業局との共催による市民フォーラム</p>

項目	記入項目	記入欄	事務局欄
普及啓発活動について	<p>先進性</p> <p>・他の普及啓発活動(または普及啓発活動及び新エネルギー導入)事例と比較した場合の特異点・新規性について</p> <p>・普及啓発活動モデルとしての公益性、経済性について、等</p>	<p>(1)『稚内公園新エネルギーサテライト』の開設</p> <p>稚内新エネルギー研究会は、低炭素社会実現の先駆的な取り組みとして、水素社会の到来を標榜しており、風力と太陽光などの新エネルギーを活用した水素製造(水電解方式による水素製造)と寒冷地用燃料電池システムを構築しその普及啓発活動に努めている。</p> <p>そのシステムは環境省の「平成のまほろば事業」(平成17年採択)により稚内公園ゲストハウス“氷雪”に設置され、新エネルギーサテライトとしてオープンさせることができた。本システムは環境学習施設として、さらには各学校の総合学習にも活用されている。</p> <p>本システムでは、稚内市の所有する風車(225kW/h)の発電で得られる電力を利用して水を電気分解し、作られた水素を燃料電池に送り込み電気エネルギーと熱エネルギーを得ている。その電力は施設内の照明とヒートポンプを稼働させて給湯器の湯水を製造し、足湯に利用することから“エコ足湯”と名付けて無料開放し市民の憩いの場として喜ばれております。</p> <p>製造された水素は一時水素吸蔵合金に溜められ、燃料電池に送り込まれる仕組みですが残留する水素を有機ハイドライド溶液の中に抽出し液体として運ぶことも可能です(常温常圧時、気体の500倍以上の水素を運搬できます)。</p> <p>すでに札幌商工会議所との共同でその有機ハイドライド溶液(メルクH4K7)を札幌まで運搬した後、有機ハイドライド自動車を走らせるデモンストレーションを実施しました。</p> <p>このことは風力や太陽光などの自然エネルギーの利活用において新しい取り組みを示唆するものであり、低炭素社会実現における水素社会到来に、より近づく先進性のあるものと考えます。</p> <div data-bbox="545 1272 1037 1639" data-label="Image"> </div> <p>エコ足湯感想ノート(4冊)</p> <div data-bbox="896 1599 1353 1935" data-label="Image"> </div> <p>数多くの感想が寄せられています</p>	

項目	記入項目	記入欄	事務局欄
普及啓発活動について	<p>先進性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の普及啓発活動(または普及啓発活動及び新エネルギー導入)事例と比較した場合の特異点・新規性について ・普及啓発活動モデルとしての公益性、経済性について、等 	<p>(2) 稚内新エネルギー研究会がめざす先進的なまちづくりビジョン</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 日本最大級の風力発電基地(宗谷岬ウインドファーム)を持つ“風のまち・稚内”の特性を活かし、自然エネルギーを利用した新エネルギー活用システム*1を構築し、地球環境保全に取り組む環境最先端のまちを創出する。 2) 燃料電池社会到来に向けた先行的まちモデルとして、将来的に水素を大規模供給できる施設を設置し、地球温暖化防止に寄与する21世紀型の地方都市モデル構築を目指す。 3) 「日口友好最先端都市・わからない」*2として、将来的にサハリンの天然ガスと水素を混合した新しいエネルギー*3の利用を視野に入れた日口間での新エネルギービジネスを、環境に優しいエネルギーの利用促進という立場から推進する。 4) 地球温暖化防止は国レベルの課題であるという認識の下に、市民参加によるまちづくり活動を通じて地球環境保全と新エネルギー活用の重要性を啓発し、人々が「地球環境に優しい暮らし」と「心の豊かさ」を実感できる“新エネルギー最先端都市”として地域の再生を目指す。 <p>*1 風力を含む自然エネルギーで水素を製造し、燃料電池に送り込むことによって発生する電気と熱を利用するコージェネレーションシステム。不安定な風力発電を水素製造に利用することにより安定したエネルギー源として利用できる可能性がある。</p> <p>*2 平成14年12月首相官邸において小泉首相と稚内市長との面談の場で小泉首相により命名された。</p> <p>*3 ハイタン(ハイドロジェントメタンの合成語):10%、15%ぐらいの割合で水素を天然ガスに混ぜた燃料。普通のエンジンで使うことが可能で水素とメタンの分離も容易。現在、サハリンの天然ガス埋蔵量は日本の使用量の35年分に相当すると見込まれている。</p> <p>(3) 地域に賦存する資源の活用</p> <p>風力発電 宗谷岬ウインドファーム(1,000kW/h×57基=57,000kWhで日本最大級)</p> <p>太陽光発電 大規模電力供給用太陽光発電系統安定化等実証研究の後利用(日本最大級)</p> <p>その他のエネルギー 燃料電池、雪冷熱、(波力)、(バイオマス)等</p> <p>研究教育機関 稚内北星学園大学及び新エネルギー研究会の顧問が所属する大学</p> <p>観光資源 日本最北端宗谷岬、稚内公園、利尻礼文サロベツ国立公園、道立宗谷ふれあい公園、北海道遺産(稚内北防波堤ドーム、宗谷丘陵周氷河地形)</p> <p>サハリン 豊富な天然ガス等の資源(水素原料)を持ち、宗谷岬から43km先に目視できる</p>	

項目	記入項目	記入欄	事務局欄
普及啓発活動について	<p>先進性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の普及啓発活動(または普及啓発活動及び新エネルギー導入)事例と比較した場合の特異点・新規性について ・普及啓発活動モデルとしての公益性、経済性について、等 	<p>(4) 活動により期待される効果</p> <p>経済性 新エネルギーの総合活用モデル拠点として集客、起業、新エネルギー関連産業の創出が促進され、まちの再生をもたらす。</p> <p>新規性 寒冷地における燃料電池活用の試験的取組みとして企業の高い関心を得ており、風力等の自然エネルギーから水素を製造し、低炭素社会における水素利用で環境に優しいモデル都市を構築する。</p> <p>発展性 風力発電や太陽光発電などと燃料電池を組み合わせることで、売電事業のみならず先行的モデルとして地球環境に優しいまちづくりの可能性を提起する。</p> <p>公益性 日本最大級の風力発電基地と日本最大級の太陽光発電施設を併せ持つ地域は希であり、さらにそれらを活用して水素製造を行っている取り組みは国内のみならず国外からも注目され、視察・見学者が大幅に増加し最北の街・稚内が今や世界最先端のまち(環境観光都市)に変貌しつつある。</p> <p>【地域における環境と経済の両立の関係】</p>  <ul style="list-style-type: none"> • 新エネルギーと燃料電池によるCO2削減 <ul style="list-style-type: none"> ・風力エネルギーと燃料電池の連携により、不安定な風力を水素製造に有効利用 ・北海道特有の地球環境負荷の低減 車社会、灯油依存、輸送コスト、熱損失 ⇒ CO2排出量が全国平均の1.3倍 燃料電池(電気+熱)でエネルギー利用効率が向上 ・エネルギー供給の自立分散化 • 環境観光産業最先端都市がもたらすインパクト <ul style="list-style-type: none"> ・21世紀型都市モデル構想の経済波及効果 研究施設と大学、企業との連携による魅力創出 エネルギー関連企業の進出と研究者の定住 インフラ整備、新産業創出、起業促進、視察者の増加 観光客等の入り込み数の増加、環境教育施設としての利用促進 ・サハリンとのエネルギービジネス最前線 サハリンの豊富な天然ガス資源、エネルギー備蓄基地に有利な立地条件 	

項目	記入項目	記入欄	事務局欄
普及啓発活動について	<p>普及啓発性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーの普及促進効果を高めるような地域特性または広域性について近隣企業との協働体制 地場産業との連携等 他への波及効果(実績) ・普及啓発活動の実績 <ul style="list-style-type: none"> 開始時期 活動頻度等 参加対象 参加者数 活動場所 (展示会、学校、市街地等) 	<p>(1) 普及啓発における地域特性および広域性</p> <p>新エネルギー研究会のビジョンの原点は日本最北端に1年中吹く強い風にあります。特に日本最北端の地“宗谷岬”では1年を通じて平均風速7.5m/hを超える風が吹いており、この風は漁業の町らしく、棒ダラや寒干しなど水産物の加工に利用されてきました。しかしこの強い風はこの地に暮らす者にとって時には命を脅かすような厄介者でもあります。</p> <p>稚内市ではその厄介者である強い風を逆手にとり「風のまち」という地域特性を活かした風力発電に取り組むことで、温暖化防止に寄与する新エネルギーの導入を実現し、地球環境に優しいまちづくりを目指しています。2006年2月には、民間企業が宗谷岬に57,000kW/hの風力発電施設(宗谷岬ウインドファーム)を稼働させ、日本最大級の風力発電施設として注目を集めました。また市内には宗谷岬ウインドファーム57基、サラキトマナイ風力9基、稚内風力発電研究所4基、稚内市4基あわせて74基の風車があり、売電事業を行う企業の参入をも促してきました。</p> <p>またNEDO技術開発機構が主管し北海道電力㈱と稚内市が委託先となり「大規模電力供給用太陽光発電系統安定化等実証研究」も稚内市で行われています。そのことが地域住民の意識向上につながり一般家庭からの設置希望が相次いでいます。また地元企業とソーラーパネルメーカーとの代理店契約も実現し、建設関連を含め様々な業種に携わる企業が連携して情報共有するために「稚内太陽エネルギー協会(仮称)」を設立し事業化への準備を進めています。</p> <p>本年7月7日から3日間の日程で行われた北海道洞爺湖サミットの会場には現在建設中の太陽光発電の実証試験施設、稚内メガソーラー(仮称)から、すでに発電をしている電力を、グリーン電力という形で供給することも出来ました。これは稚内新エネルギー研究会から北海道経済産業局に提案を行ったもので、担当部署のご理解とご尽力のもと、経済産業省を通じて外務省の承諾を得て実現の運びとなりました。</p> <p>稚内新エネルギー研究会はこれらの普及啓発活動の地域の牽引役として積極的に活動すると同時に、設置計画や企画立案などのプロポーザルも積極的に行っています。</p>	

項目	記入項目	記入欄	事務局欄																																
普及啓発活動について	<p>普及啓発性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーの普及促進効果を高めるような地域特性または広域性について近隣企業との協働体制 地場産業との連携等 他への波及効果(実績) ・普及啓発活動の実績 開始時期 活動頻度等 参加対象 参加者数 活動場所 (展示会、学校、市街地等) 	<p>(2) 普及啓発活動の実績</p> <p>新エネルギーの導入、地球温暖化の防止、地球環境保全意識の啓発などを促進し、地域の再発見と活性化に結びつけるため、稚内新エネルギー研究会会員だけでなく、広く一般市民の方々にも数多く参加して頂きながら活動しております。</p> <table border="1" data-bbox="544 629 1350 1968"> <thead> <tr> <th>活動項目</th> <th>開始時期及び活動頻度</th> <th>参加対象及び参加者数</th> <th>活動場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 市民環境セミナー及びフォーラム</td> <td>年2回以上</td> <td>一般市民 約50~300名</td> <td>・稚内北星学園大学 ・稚内全日空ホテル ・稚内公園ゲストハウス「氷雪」 ・稚内市立図書館 多目的ホール ・稚内総合文化センター ・稚内市総合勤労者会館</td> </tr> <tr> <td>(2) 活動報告会</td> <td>年1回程度</td> <td>研究会会員、一般市民 毎回約50~100名</td> <td>・稚内北星学園大学 ・稚内市立図書館 多目的ホール</td> </tr> <tr> <td>(3) 広報誌「レラヴィわっかない」の発行</td> <td>年1回程度</td> <td>一般市民 総発行部数約4万部(~)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(4) パンフレットや小冊子の作成</td> <td>年1回程度</td> <td>一般市民 総発行部数約8千部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(5) 地球温暖化防止・北のてっぺん緑化プロジェクト</td> <td>年1回程度</td> <td>一般市民 毎回約100~150名</td> <td>稚内市内</td> </tr> <tr> <td>(6) 市民参加型事業や環境学習</td> <td>年1回程度</td> <td>一般市民 毎回約50~100名</td> <td>・稚内公園 新エ礼[®]-サライト ・稚内市立潮見が丘中学校</td> </tr> <tr> <td>(7) ホームページの運営</td> <td>平成18年度より開始 通年</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	活動項目	開始時期及び活動頻度	参加対象及び参加者数	活動場所	(1) 市民環境セミナー及びフォーラム	年2回以上	一般市民 約50~300名	・稚内北星学園大学 ・稚内全日空ホテル ・稚内公園ゲストハウス「氷雪」 ・稚内市立図書館 多目的ホール ・稚内総合文化センター ・稚内市総合勤労者会館	(2) 活動報告会	年1回程度	研究会会員、一般市民 毎回約50~100名	・稚内北星学園大学 ・稚内市立図書館 多目的ホール	(3) 広報誌「レラヴィわっかない」の発行	年1回程度	一般市民 総発行部数約4万部(~)		(4) パンフレットや小冊子の作成	年1回程度	一般市民 総発行部数約8千部		(5) 地球温暖化防止・北のてっぺん緑化プロジェクト	年1回程度	一般市民 毎回約100~150名	稚内市内	(6) 市民参加型事業や環境学習	年1回程度	一般市民 毎回約50~100名	・稚内公園 新エ礼 [®] -サライト ・稚内市立潮見が丘中学校	(7) ホームページの運営	平成18年度より開始 通年			
	活動項目	開始時期及び活動頻度	参加対象及び参加者数	活動場所																															
(1) 市民環境セミナー及びフォーラム	年2回以上	一般市民 約50~300名	・稚内北星学園大学 ・稚内全日空ホテル ・稚内公園ゲストハウス「氷雪」 ・稚内市立図書館 多目的ホール ・稚内総合文化センター ・稚内市総合勤労者会館																																
(2) 活動報告会	年1回程度	研究会会員、一般市民 毎回約50~100名	・稚内北星学園大学 ・稚内市立図書館 多目的ホール																																
(3) 広報誌「レラヴィわっかない」の発行	年1回程度	一般市民 総発行部数約4万部(~)																																	
(4) パンフレットや小冊子の作成	年1回程度	一般市民 総発行部数約8千部																																	
(5) 地球温暖化防止・北のてっぺん緑化プロジェクト	年1回程度	一般市民 毎回約100~150名	稚内市内																																
(6) 市民参加型事業や環境学習	年1回程度	一般市民 毎回約50~100名	・稚内公園 新エ礼 [®] -サライト ・稚内市立潮見が丘中学校																																
(7) ホームページの運営	平成18年度より開始 通年																																		

項目	記入項目	記 入 欄	事務局欄
普及啓発活動について	<p>普及啓発性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーの普及促進効果を高めるような地域特性または広域性について ・近隣企業との協働体制 ・地場産業との連携等 ・他への波及効果(実績) <p>普及啓発活動の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 開始時期 活動頻度等 参加対象 参加者数 活動場所 (展示会、学校、市街地等) 	<p>【平成17年度】の活動実績</p> <p>(1) 市民環境セミナー及びフォーラム</p> <p>日時：平成17年7月30日(土) 13:30～16:30 場所：稚内北星学園大学 大教室 参加対象：一般及び会員 参加者数：120名 内容：</p> <p>「自然エネルギーの利用～低温凍結熱媒と雪氷による氷点下貯蔵の実証実験」 講師：(株)大林組 旭川営業所長 小川善一 氏</p> <p>「環境問題の社会学」 講師：稚内北星学園大学 教授 張江洋直 氏</p>  <p>張江教授の講演風景</p> <p>日時：平成17年10月23日(日) 13:00～15:30 場所：稚内北星学園大学 大教室 参加対象：一般及び会員 参加者数：80名 内容：</p> <p>燃料電池体験セミナー</p> <p>「燃料電池のしくみと開発の現在(いま)」 講師：(株)キュー・エム・ソフト 社長 石井 英二 氏</p> <p>「燃料電池システム開発とデモンストレーション」 講師：(株)バンテック 主任研究員 鈴木 大介 氏</p> <p>その他、会場内でパネル展示</p>  <p>鈴木大介氏による燃料電池デモ</p>	

項目	記入項目	記入欄	事務局欄
普及啓発活動について	<p>普及啓発性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーの普及促進効果を高めるような地域特性または広域性について近隣企業との協働体制 地場産業との連携等 他への波及効果（実績） ・普及啓発活動の実績 <ul style="list-style-type: none"> 開始時期 活動頻度等 参加対象 参加者数 活動場所（展示会、学校、市街地等） 	<p>日時：平成 18 年 1 月 28 日（土）15:00～18:00 場所：稚内全日空ホテル 2階 鳳 参加対象：一般及び会員 参加者数：200 名 内容： 稚内公園新エネルギーサテライト オープン記念セミナー</p> <p>「水素エネルギーと資源を活用する北の大地」 講師：北海道大学大学院名誉教授 市川 勝 氏</p> <p>「稚内の可能性～環境・食・エネルギー」 講師：慶応大学大学院 教授 金谷 年展 氏</p> <p>「稚内公園新エネルギーサテライト概要説明」</p>  <p>北海道大学 市川 勝名誉教授の講演</p> <p>日時：平成 18 年 1 月 29 日（日）10:30～11:30 場所：稚内公園ゲストハウス「氷雪」 参加対象：一般及び会員 参加者数：80 名 内容： 稚内公園新エネルギーサテライトオープン記念セレモニー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テープカット ・点灯式 ・システム説明 ・館内見学  <p>青天のセレモニー当日</p>  <p>来賓によるテープカットの様子</p>	

項目	記入項目	記入欄	事務局欄
普及啓発活動について	<p>普及啓発性</p> <p>・新エネルギーの普及促進効果を高めるような地域特性または広域性について 近隣企業との協働体制 地場産業との連携等 他への波及効果（実績）</p> <p>・普及啓発活動の実績 開始時期 活動頻度等 参加対象 参加者数 活動場所 （展示会、学校、市街地等）</p>	<p>日時：平成 18 年 2 月 24 日（金）17:30～20:00 場所：稚内市立図書館 多目的ホール 参加対象：一般及び会員 参加者数：80 名 内容：市民環境セミナー in わっかない ～ 葛巻町の先進事例に学ぶ～ （稚内市地域振興課との共催）</p> <p>「エネルギー自給のまちづくり ～くずまきの環境は未来の子どもたちへの贈り物～」 講師：葛巻町環境エネルギー政策課 課長補佐 近藤 勝義 氏</p> <p>パネルディスカッション パネリスト 葛巻町環境エネルギー政策課 課長補佐 近藤 勝義 氏 稚内市地域振興課 課長 岩田 淳一 氏 ファーム&スペースレラ 新田 みゆき 氏 稚内新エネルギー研究会 会長 長谷川 伸一 コーディネーター エフエムわっかない 望南海 昂 氏</p> <p>日時：平成 17 年 9 月 16 日（金）14:30～17:30 場所：稚内総合文化センター（大ホール） 参加対象：一般及び会員 参加者数：400 名 内容： 新エネルギー・フォーラム ～エネルギーッシュな私たちの街～ （宗谷建設青年会との共催） 基調講演「これからの北海道のあり方について ～地域づくりに向けた私見～」 講師：デンマーク「風のがっこう」 主宰 ケンジ ステファン スズキ 氏 パネルディスカッション「未来の地域づくりに向けて」 パネリスト S.R.A 代表 ケンジ ステファン スズキ 氏 東京農工大学大学院 教授 柏木 孝夫 氏 稚内新エネルギー研究会 会長 長谷川 伸一 コーディネーター 稚内市 市長 横田 耕一 氏</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="555 1693 919 1975" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="970 1693 1350 1975" data-label="Image"> </div> </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> パネルディスカッション風景 公演中のスズキ氏 </p>	

項目	記入項目	記入欄	事務局欄
普及啓発活動について	<p>普及啓発性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーの普及促進効果を高めるような地域特性または広域性について 近隣企業との協働体制 地場産業との連携等 他への波及効果（実績） ・普及啓発活動の実績 開始時期 活動頻度等 参加対象 参加者数 活動場所 （展示会、学校、市街地等） 	<p>日時：平成 18 年 3 月 24 日（金）15:00～18:00 場所：稚内全日空ホテル 2階 鳳 参加対象：一般及び会員 参加者数：250 名 内容： 環境・エネルギーフォーラム 2006 in わっかない 基調講演「地球温暖化抑止に向けて 水素利用技術の最近の進歩」 講師：芝浦工業大学 学長 平田 賢 氏 パネルディスカッション 「地球温暖化防止とエネルギー問題 ～稚内の可能性を問う～」</p> <p>パネリスト 芝浦工業大学 学長 平田 賢 氏 (株)エコ&エナジー 代表取締役 朝倉 堅五 氏 NEDO技術開発機構 北海道支部 主幹 石原 義光 氏 稚内新エネルギー研究会 会長 長谷川 伸一 コーディネーター 稚内北星学園大学 教授 佐々木 政憲 氏 司会 エフエムわっかない 望南海 昂 氏</p>  <p>平田 賢 芝浦工業大学長による基調講演</p>	

項目	記入項目	記入欄	事務局欄
普及啓発活動について	<p>普及啓発性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーの普及促進効果を高めるような地域特性または広域性について 近隣企業との協働体制 地場産業との連携等 他への波及効果（実績） ・普及啓発活動の実績 開始時期 活動頻度等 参加対象 参加者数 活動場所 （展示会、学校、市街地等） 	<p>（２）活動報告会</p> <p>事業の実施状況を広く公開して、会員・市民の皆さんのチェックおよび意見集約の場として活用し、その結果を事業の改善にフィードバックするために、セミナー、フォーラムの機会を通じて定期活動報告を行いました。また、平成 18 年 3 月 4 日（土）に平成 19 年度の開設をめざしている「風のがっこう稚内」に対する市民の声を聞くため、「風のがっこう稚内設立準備懇談会」（於：稚内市立図書館）を研究会顧問の稚内北星学園大学 佐々木 政憲 教授を座長として開催しました。</p> <p>参加対象：一般及び会員 参加者数：50 名</p>  <p>風のがっこう稚内設立準備懇談会の様子</p>	

項目	記入項目	記入欄	事務局欄
普及啓発活動について	<p>普及啓発性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーの普及促進効果を高めるような地域特性または広域性について <ul style="list-style-type: none"> 近隣企業との協働体制 地場産業との連携等 他への波及効果（実績） ・普及啓発活動の実績 <ul style="list-style-type: none"> 開始時期 活動頻度等 参加対象 参加者数 活動場所（展示会、学校、市街地等） 	<p>（３）広報誌「レラヴィわっかない」の発行</p> <p>市民を対象に、環境問題、新エネルギーから地域に密着した「人・暮らし・歴史」など広くまちづくりに資する内容の掘り起しを編集方針に掲げ、研究会からの情報発信と新エネルギーの導入、地球環境保全意識の啓発促進、地域の再発見による稚内の活性化につなげるため、広報誌「レラヴィわっかない」を発行しました。</p> <p>会員への全員配布、セミナー、フォーラム等イベントでの配布のほか、市内旅館業組合を通じて旅館やホテルのフロント、各部屋への備え付け、稚内市教育委員会を通じて小中学校の全児童・生徒・職員への配布を行いました。</p>  <p style="text-align: center;">資料 1</p> <p>（４）パンフレットや小冊子の作成</p> <p>燃料電池システムを設置した「稚内公園新エネルギーサテライト」が平成 18 年 1 月 29 日にオープンしました。見学者への燃料電池と館内設備の説明、地球環境保全と新エネルギーの普及啓発、地域情報発信の手段として、パンフレット（A4 判 16 ページ）を 2,000 部作成しました。</p>  <p style="text-align: center;">資料 9</p>	

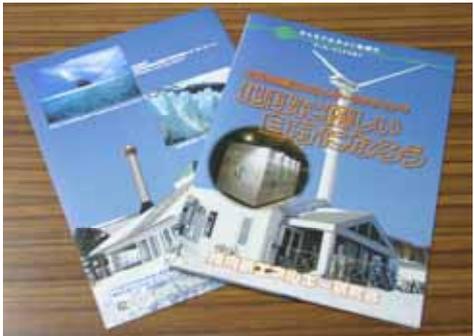
項目	記入項目	記入欄	事務局欄
普及啓発活動について	<p>普及啓発性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーの普及促進効果を高めるような地域特性または広域性について 近隣企業との協働体制 地場産業との連携等 他への波及効果（実績） ・普及啓発活動の実績 開始時期 活動頻度等 参加対象 参加者数 活動場所 （展示会、学校、市街地等） 	<p>（５）地球温暖化防止・北のてっぺん緑化プロジェクト 稚内は道内でも森林の割合が少なく、地球温暖化防止活動への取組みの一環として、地域住民のみなさんのボランティア活動による植樹や緑の募金活動などを行いました。平成17年度から「宗谷みどりネットワーク」の事務局を担当しています。</p> <p>日時：平成17年10月30日 場所：稚内市メグマ 参加対象：一般及び会員 参加者数：131名</p>  <p>スタッフ一同で記念撮影</p> <p>（６）市民参加型事業や環境学習 市民参加型事業として、「ゆきあかり OneNightCafe」を実施しました。 稚内の冬の風物詩となりつつある「彩北わっキャナイト」に協力して、平成18年3月31日で廃止となる稚内公園ロープウェイ山上駅からゲストハウス「氷雪」まで100個のノーキャンドルを並べました。残念ながら、強風と雪のため暗くなった頃にはほとんど消えてしまいました。 夜はゲストハウス内で鈴木秀一氏の「こだわり珈琲講座」で「おいしいレギュラー珈琲の入れ方」を教わったあと、香り高い珈琲を楽しみながら、西表島で三線を勉強されている稚内出身の門馬由賀さんの弾き語りにも耳を傾けました。</p> <p>参加対象：一般及び会員 参加者数：40名</p>  <p>珈琲の入れ方を講義する鈴木さん</p>  <p>三線を演奏する門馬さん</p>	

項目	記入項目	記入欄	事務局欄
普及啓発活動について	<p>普及啓発性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーの普及促進効果を高めるような地域特性または広域性について 近隣企業との協働体制 地場産業との連携等 他への波及効果（実績） ・普及啓発活動の実績 開始時期 活動頻度等 参加対象 参加者数 活動場所 （展示会、学校、市街地等） 	<p>【平成18年度】の活動実績</p> <p>（1）市民環境セミナー及びフォーラム</p> <p>日時：平成18年5月25日（水）18:00～20:00 場所：稚内北星学園大学 中教室 参加対象：一般及び会員 参加者数：100名 内容： 市民環境セミナー2006～ここまできた バイオマスエネルギーの利活用～</p> <p>NEDO新エネルギー啓発用ビデオ上映 「身近な資源がよみがえる バイオマスエネルギー」</p> <p>「環境を守る持続可能な酪農への挑戦 ～バイオガスプラントの取組み～」</p> <p>講師：北日本牧場有限会社 木野裕二 氏 バイオガスプラントセミナー 講師：(株) コーンズ・エージョー 森田 香 氏 監修：(株)コーンズ・エージョー・北海道富士電機(株)</p> <p>日時：平成18年12月9日（土）15:00～20:00 場所：稚内市総合勤労者会館 参加対象：一般及び会員 参加者数：40名 内容： エコ・クッキング教室 講師：ファーム&スペース・レラ 主宰 新田みゆき 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコ・クッキング実習 「地元食材と土鍋でつくるエコメニュー」 メインメニュー：ピラフ、ハンバーグ、スープ デザート：勇知の牛乳とレラの卵でつくったプリン ・試食 ・座談会「食と環境を考える夕べ」 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div data-bbox="533 1671 924 1939" style="text-align: center;">  <p>木野 裕二氏による講演</p> </div> <div data-bbox="944 1671 1356 1939" style="text-align: center;">  <p>保温調理の解説をする新田さん</p> </div> </div>	

項目	記入項目	記入欄	事務局欄
普及啓発活動について	<p>普及啓発性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーの普及促進効果を高めるような地域特性または広域性について 近隣企業との協働体制 地場産業との連携等 他への波及効果（実績） ・普及啓発活動の実績 開始時期 活動頻度等 参加対象 参加者数 活動場所 （展示会、学校、市街地等） 	<p>日時：平成 19 年 2 月 13 日（火）18:00～20:00 場所：稚内市立図書館 多目的ホール 参加対象：一般及び会員 参加者数：90 名 内容： 市民エネルギー・環境セミナー2007</p> <p>基調講演「稚内メガグリッドと エクセルギー・コンビナート」 講師：北海道大学 名誉教授 工学博士 谷口 博 氏 （北海道功労者）</p> <p>パネルディスカッション 「環境エネルギー最先端都市・稚内に向けて」 パネリスト 北海道大学 名誉教授 谷口 博 氏</p> <p>稚内北星学園大学 教授 佐々木 政憲 氏</p> <p>稚内新エネルギー研究会 会長 長谷川 伸一</p> <div data-bbox="730 1169 1177 1487" data-label="Image"> </div> <p>北海道大学 名誉教授 谷口 博 氏</p>	

項目	記入項目	記入欄	事務局欄
普及啓発活動について	<p>普及啓発性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーの普及促進効果を高めるような地域特性または広域性について 近隣企業との協働体制 地場産業との連携等 他への波及効果（実績） ・普及啓発活動の実績 開始時期 活動頻度等 参加対象 参加者数 活動場所 （展示会、学校、市街地等） 	<p>日時：平成 19 年 3 月 17 日（土）15:00～17:45 場所：稚内全日空ホテル 2階 鳳 参加対象：一般及び会員 参加者数：300 名 内容： 市民環境フォーラム 2007 『『不都合な真実』って何？』</p> <p>基調講演「不都合な真実～ いま地球になにが起きているのか～」 講師：環境ジャーナリスト 枝廣 淳子 氏</p>  <p>パネルディスカッション パネリスト 環境ジャーナリスト 枝廣 淳子 氏 消費生活アドバイザー 青柳恵美子 氏 （元 環境省地球温暖化対策課 主査） スペース&ファーム・レラ 新田みゆき 氏</p> <p>コーディネーター NPO 法人 北海道グリーンファンド 理事 岡崎 朱実 氏</p>  <p>基調講演の枝廣淳子さん</p>  <p>パネルディスカッション風景</p>  <p>エコ風呂敷を説明する青柳さん</p>  <p>参加者からの質疑風景</p>	

項目	記入項目	記入欄	事務局欄
普及啓発活動について	<p>普及啓発性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーの普及促進効果を高めるような地域特性または広域性について <ul style="list-style-type: none"> 近隣企業との協働体制 地場産業との連携等 他への波及効果（実績） ・普及啓発活動の実績 <ul style="list-style-type: none"> 開始時期 活動頻度等 参加対象 参加者数 活動場所 （展示会、学校、市街地等） 	<p>（２）活動報告会</p> <p>日時：平成 18 年 7 月 25 日（土）18:00～19:00 場所：稚内市立図書館 多目的ホール 参加対象：一般及び会員 参加者数：80 名 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ N E D O 「大規模太陽光発電系統安定化等実証試験」の事業申請経過について ・ 環境省「環境と経済の好循環のまちモデル事業」の進捗と 18 年度事業について ・ 「風のがっこう稚内」の進捗状況について <div data-bbox="625 728 1273 1160" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">活動報告を行う稚内新エネルギー研究会 長谷川会長</p>	

項目	記入項目	記 入 欄	事務局欄
普 及 啓 発 活 動 に つ い て	<p>普及啓発性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーの普及促進効果を高めるような地域特性または広域性について 近隣企業との協働体制 地場産業との連携等 他への波及効果（実績） ・普及啓発活動の実績 開始時期 活動頻度等 参加対象 参加者数 活動場所 （展示会、学校、市街地等） 	<p>（３）広報誌「レラヴィわっかない」の発行 平成 17 年度に引き続き広報誌「レラヴィわっかない Vol.2」（A5 判 68 ページ）を 1 万 5 千部発行しました。有志により市内全戸に配布しました。</p>   <p>（４）パンフレットや小冊子の作成 稚内公園新エネルギーサテライトを訪れる児童、生徒及び一般来訪者に対して、燃料電池を中心とする資源・エネルギー問題、地球温暖化問題、地球環境保全などを解説するための副教材として、環境とエネルギーの学習小冊子「地球に優しい自分になるう」（A4 判 16 ページ）を 2000 部作成しました。</p> <p>稚内公園新エネルギーサテライトに備え付けているほか、学校における環境学習や環境に関する講演依頼があったときの資料としても配布しています。</p> 	<p style="text-align: center;">資料 2</p> <p style="text-align: center;">資料 4</p>

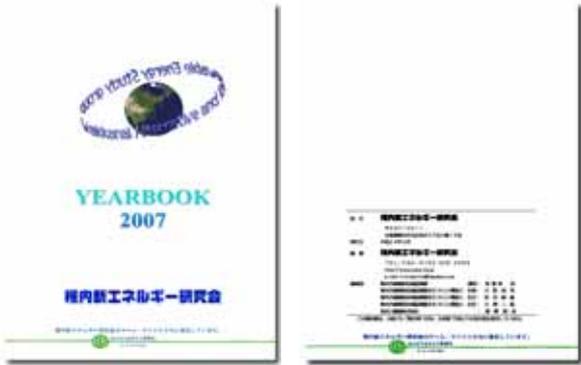
項目	記入項目	記入欄	事務局欄
普及啓発活動について	<p>普及啓発性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーの普及促進効果を高めるような地域特性または広域性について 近隣企業との協働体制 地場産業との連携等 他への波及効果（実績） ・普及啓発活動の実績 開始時期 活動頻度等 参加対象 参加者数 活動場所 （展示会、学校、市街地等） 	<p>（５）地球温暖化防止・北のてっぺん緑化プロジェクト 平成 17 年度に続き、地球温暖化防止活動への取組みの一環として、地域住民のみなさんのボランティア活動による植樹や緑の募金活動などを行いました。</p> <p>日時：平成 18 年 8 月 4・5 日 場所：稚内市メグマ 参加対象：一般及び会員 参加者数：80 名</p> <p>昨年度植樹したメグマの森の下刈りを行いました。</p> <p>日時：平成 18 年 11 月 28 日 場所：稚内市新光町 参加対象：一般及び会員 参加者数：80 名</p> <p>ボランティア植樹を行いました。</p> <div data-bbox="667 1077 1217 1361" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">平成 1 8 年度植樹の概要</p> <p>植栽地 稚内市朝日 6 丁目 総面積 2,700 m² 参加者 112 名 植栽樹種 ミズナラ、イタヤカエデ、ヤナギ、エゾマツ、 センノキ 植栽本数 800 本</p> </div> <div data-bbox="539 1420 916 1706" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">下刈りの様子(稚内市メグマ)</p> <div data-bbox="954 1420 1331 1706" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">スタッフ一同で記念撮影(稚内市新光町)</p>	

項目	記入項目	記入欄	事務局欄
普及啓発活動について	<p>普及啓発性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーの普及促進効果を高めるような地域特性または広域性について <ul style="list-style-type: none"> 近隣企業との協働体制 地場産業との連携等 他への波及効果（実績） ・普及啓発活動の実績 <ul style="list-style-type: none"> 開始時期 活動頻度等 参加対象 参加者数 活動場所 <p>（展示会、学校、市街地等）</p>	<p>（６）市民参加型事業や環境学習</p> <p>稚内市内の中学 2 年生に燃料電池設備を公開するとともに、総合学習の時間として環境エネルギー学習支援プログラムを実施しました。</p> <p>日時：平成 18 年 9 月 5 日～10 月 28 日 授業総時数 23 時間（うち 12 時間をサポート） 場所：稚内市立潮見が丘中学校 参加対象：一般（稚内市立潮見が丘中学校 2 年生） 参加者数：80 名（3 クラス） 協力： 稚内北星学園大学 三浦電機㈱ 北海道環境サポートセンター</p> <div style="text-align: center;">  <p>風車製作実習（稚内市立潮見が丘中学校）</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>北海道環境サポートセンターの「地球温暖化ふせぎ隊」出前授業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>稚内公園燃料電池見学（稚内公園）</p> </div> </div>	

項目	記入項目	記入欄	事務局欄
普及啓発活動について	<p>普及啓発性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーの普及促進効果を高めるような地域特性または広域性について 近隣企業との協働体制 地場産業との連携等 他への波及効果（実績） ・普及啓発活動の実績 開始時期 活動頻度等 参加対象 参加者数 活動場所 （展示会、学校、市街地等） 	<p>(7) ホームページの運営 新エネルギーの普及・地球環境保全の啓発等の情報発信を行うため、稚内新エネルギー研究会のホームページを運営しています。情報発信頻度を高めるためブログも開始しました。</p> <p>【ホームページアドレス】 http://www.rera-vie.jp</p> 	

項目	記入項目	記入欄	事務局欄
普及啓発活動について	<p>普及啓発性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーの普及促進効果を高めるような地域特性または広域性について 近隣企業との協働体制 地場産業との連携等 他への波及効果（実績） ・普及啓発活動の実績 開始時期 活動頻度等 参加対象 参加者数 活動場所 （展示会、学校、市街地等） 	<p>【平成19年度】の活動実績</p> <p>（1）市民環境セミナー及びフォーラム</p> <p>日時：平成20年2月1日（金）18:30～19:30 場所：稚内市立図書館 多目的ホール 参加対象：一般及び会員 参加者数：90名 内容： 家庭用燃料電池入門セミナー 「家庭用燃料電池の現状について ～燃料電池のある生活～」 講師：東芝燃料電池システム株式会社 営業サービス部 和田 利之 氏 家庭用燃料電池設置紹介ビデオ 「風のがっこう稚内」・「一般公募住宅」</p> <p>日時：平成20年3月1日（土）15:00～18:00 場所：稚内北星学園大学 講堂 参加対象：一般及び会員 参加者数：200名 内容： 市民環境フォーラム2008 基調講演「デンマークの接続可能な国づくりに学ぶ ～接続可能な稚内をめざして～」 講師：デンマーク「風のがっこう」 代表 ケンジ・ステファン・スズキ 氏 パネルディスカッション 「環境エネルギー最先端都市・稚内に向けて」 パネリスト デンマーク「風のがっこう」 代表 ケンジ・ステファン・スズキ 氏 環境省総合環境政策局環境計画課 課長 弥元 伸也 氏 稚内市総務部地域振興課 課長 東海林 到 氏 稚内北星学園大学情報メディア学部 講師 池田 裕子 氏 稚内新エネルギー研究会 会長 長谷川 伸一 コーディネータ 札幌商工会議所 「新エネルギービジネス研究会」 幹事 小池田 章 氏</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">燃料電池のしくみを説明する和田氏 スズキ氏を迎えてパネルディスカッション</p>	

項目	記入項目	記入欄	事務局欄
普及啓発活動について	<p>普及啓発性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーの普及促進効果を高めるような地域特性または広域性について 近隣企業との協働体制 地場産業との連携等 他への波及効果（実績） ・普及啓発活動の実績 開始時期 活動頻度等 参加対象 参加者数 活動場所 （展示会、学校、市街地等） 	<p>（２）活動報告会</p> <p>日時：平成 20 年 2 月 1 日（金）18:00～18:30 場所：稚内市立図書館 多目的ホール 参加対象：一般及び会員 参加者数：90 名</p> <p>家庭用燃料電池入門セミナー開催に合わせて、活動報告会を実施。</p> 	

項目	記入項目	記入欄	事務局欄
<p>普及啓発活動について</p>	<p>普及啓発性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーの普及促進効果を高めるような地域特性または広域性について 近隣企業との協働体制 地場産業との連携等 他への波及効果（実績） ・普及啓発活動の実績 開始時期 活動頻度等 参加対象 参加者数 活動場所 （展示会、学校、市街地等） 	<p>(3) 広報誌「レラヴィわっかない」の発行 平成18年度にひきつづき広報誌「レラヴィわっかない Vol.3」(A5版 48ページ)を9,000部発行しました。</p>   <p style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">資料3</p> <p>(4) パンフレットや小冊子の作成 公共事業で燃料電池システムを設置している「稚内公園新エネルギーサテライト」への来訪者向けの説明資料、環境と新エネルギーの啓発、地域情報発信の手段として作成した見学者用パンフレット(A4版16ページ)を改訂し2000部作成しました。</p>  <p style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">資料8</p>	

項目	記入項目	記入欄	事務局欄
普及啓発活動について	<p>普及啓発性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーの普及促進効果を高めるような地域特性または広域性について <ul style="list-style-type: none"> 近隣企業との協働体制 地場産業との連携等 他への波及効果（実績） ・普及啓発活動の実績 <ul style="list-style-type: none"> 開始時期 活動頻度等 参加対象 参加者数 活動場所（展示会、学校、市街地等） 	<p>（５）地球温暖化防止・北のてっぺん緑化プロジェクト 平成 18 年度に続き、地球温暖化防止活動への取組みの一環として、地域住民のみなさんのボランティア活動による植樹や緑の募金活動などを行いました。</p> <p>日時：平成 19 年 10 月 27 日 場所：稚内市声問 参加対象：一般及び会員 参加者数：80 名</p>  <p>宗谷ふれあい公園植樹風景</p> <p>（６）市民参加型事業や環境学習 稚内公園新エネルギーサテライトで環境に関する学習を実施しました。平成 19 年度は海外からの参加もありました。</p> <p>日程：平成 18 年 9 月 15 日 場所：米・バーモント州 スターリング・カレッジ 参加対象：一般 参加者数：20 名</p>  <p>稚内公園新エネルギーサテライトにて研修中</p>	

項目	記入項目	記入欄	事務局欄
普及啓発活動について	<p>普及啓発性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーの普及促進効果 を高めるような地域特性または 広域性について <ul style="list-style-type: none"> 近隣企業との協働体制 地場産業との連携等 他への波及効果（実績） ・普及啓発活動の実績 <ul style="list-style-type: none"> 開始時期 活動頻度等 参加対象 参加者数 活動場所 （展示会、学校、市街地等） 	<p>日程：平成 18 年 10 月 5 日 場所：稚内高等学校 参加対象：一般 参加者数：20 名</p>  <p style="text-align: center;">稚内高等学校定時制 2 学年総合学習</p> <p>日程：平成 18 年 10 月 15・19 日 場所：稚内市立潮見が丘中学校 参加対象：一般 参加者数：40 名</p>  <p style="text-align: center;">稚内新エネルギーサテライトにて研修中の 稚内市立潮見が丘中学校 2 年生</p>	

項目	記入項目	記入欄	事務局欄
普及啓発活動について	<p>普及啓発性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーの普及促進効果を高めるような地域特性または広域性について <ul style="list-style-type: none"> 近隣企業との協働体制 地場産業との連携等 他への波及効果（実績） ・普及啓発活動の実績 <ul style="list-style-type: none"> 開始時期 活動頻度等 参加対象 参加者数 活動場所 （展示会、学校、市街地等） 	<p>また、「風のがっこう稚内」と一般公募により選定した、「一般住宅」にLPガス改質型の家庭用燃料電池（0.7kw）コージェネレーションシステム2基を設置しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">一般住宅 家庭用燃料電池</p> <div style="text-align: center;">  <p>風のがっこう稚内</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>風車 2基（1500w/h） 太陽光パネル（700w/h）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>風のがっこう内部</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>風のがっこう内 燃料電池</p> </div>	

項目	記入項目	記入欄	事務局欄
普及啓発活動について	<p>普及啓発性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーの普及促進効果を高めるような地域特性または広域性について <ul style="list-style-type: none"> 近隣企業との協働体制 地場産業との連携等 他への波及効果（実績） ・普及啓発活動の実績 <ul style="list-style-type: none"> 開始時期 活動頻度等 参加対象 参加者数 活動場所 （展示会、学校、市街地等） 	<p>（7）ホームページの運営 稚内新エネルギー研究会のホームページ及びブログを常に更新し、新エネルギーの普及・地球環境保全の啓発等の情報を発信し続けています。</p> <p>【ホームページアドレス】 http://www.rera-vie.jp</p>  <p>The screenshot shows a web browser displaying the homepage of the RERA-VIE website. The page features a header with the organization's name and a main banner image of a wind turbine. Below the banner, there is a list of blog posts with dates and titles. The browser's address bar shows the URL http://www.rera-vie.jp.</p>	

項目	記入項目	記入欄	事務局欄
普及啓発活動について	<p>普及啓発性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーの普及促進効果 を高めるような地域特性または 広域性について <ul style="list-style-type: none"> 近隣企業との協働体制 地場産業との連携等 他への波及効果（実績） ・普及啓発活動の実績 <ul style="list-style-type: none"> 開始時期 活動頻度等 参加対象 参加者数 活動場所 （展示会、学校、市街地等） 	<p>（１）大規模太陽光発電実証試験地を稚内へ誘致</p> <p>平成 18 年 9 月、稚内市が NEDO 技術開発機構が公募した「大規模電力供給用太陽光発電系統安定化等実証研究」の 5 年間にわたる実証試験地に選定され、稚内市声問地区に総発電容量 5,000 k w / h の大規模太陽光発電施設が建設されることになりました。平成 20 年 3 月末現在 2,000 k w の工事が完成し日々発電と研究が盛んに行われています。実証研究は平成 22 年まで続きます。</p> <div data-bbox="655 591 1251 1032" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">大規模太陽光発電所完成予想図 （北海道電力提供）</p>	

項目	記入項目	記入欄	事務局欄																																																																
普及啓発活動について	<p>普及啓発性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーの普及促進効果を高めるような地域特性または広域性について <ul style="list-style-type: none"> 近隣企業との協働体制 地場産業との連携等 他への波及効果（実績） ・普及啓発活動の実績 <ul style="list-style-type: none"> 開始時期 活動頻度等 参加対象 参加者数 活動場所（展示会、学校、市街地等） 	<p>（２）視察者の増加 平成 17 年度のまほろば事業で「風力発電と連携した燃料電池」を設置したことから、北海道内だけでなく道外遠隔地からも多くの視察者が訪れました。</p> <p>平成 18 年度</p> <table border="1" data-bbox="582 533 1353 929"> <thead> <tr> <th>視 察 日</th> <th>視 察 者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月 6日</td> <td>三重県 鈴鹿市議団（政友会）一行</td> </tr> <tr> <td>6月29～30日</td> <td>鹿児島大学名誉教授 藤田晋輔 氏</td> </tr> <tr> <td>7月 6日</td> <td>佐賀県 唐津市議団（唐創会）一行</td> </tr> <tr> <td>8月 6日</td> <td>二階経済産業大臣・武部自由民主党幹事長</td> </tr> <tr> <td>9月 6日</td> <td>豊富町理科担当教職員</td> </tr> <tr> <td>9月22日</td> <td>立命館慶祥高等学校3年 香林友萌さん</td> </tr> <tr> <td>10月19日</td> <td>福岡県議団（景気雇用対策特別委員会）</td> </tr> <tr> <td>11月 1日</td> <td>北海道大学文学部4年 鹿野道生 氏</td> </tr> <tr> <td>11月 8日</td> <td>八戸工業大学 教授 熊谷浩二 氏</td> </tr> <tr> <td>11月12日</td> <td>林-ツ地域I社[®]-環境教育研究会</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成 19 年度</p> <table border="1" data-bbox="582 996 1353 1393"> <thead> <tr> <th>視 察 日</th> <th>視 察 者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月12日</td> <td>NEDO 技術開発機構北海道支部長</td> </tr> <tr> <td>7月25～27日</td> <td>葛巻町新エネルギー導入先進地視察</td> </tr> <tr> <td>8月23日</td> <td>群馬県 太田市小中学生交流事業</td> </tr> <tr> <td>8月30日</td> <td>I社[®]-コミュニケ-ター事業 稚内市教育研究大会</td> </tr> <tr> <td>9月 4日</td> <td>市政功労者の会・受勲者の会</td> </tr> <tr> <td>9月15日</td> <td>スターリング・カレッジ（米・パーモント州）</td> </tr> <tr> <td>9月23日</td> <td>北海道地球温暖化防止活動推進員研修会</td> </tr> <tr> <td>10月 3日</td> <td>稚内高等学校定時制2学年 総合学習</td> </tr> <tr> <td>10月15・16日</td> <td>稚内市立潮見が丘中学校2年生 総合学習</td> </tr> <tr> <td>10月25日</td> <td>林-ツ新I社[®]-技術開発推進機構（北見市）</td> </tr> <tr> <td>11月 6日</td> <td>北海道経済産業局、NEDO 技術開発機構、稚内市</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成 20 年度</p> <table border="1" data-bbox="582 1460 1353 1787"> <thead> <tr> <th>視 察 日</th> <th>視 察 者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月15日</td> <td>G8 北海道洞爺湖サミット事前広報外人プレスツアー-</td> </tr> <tr> <td>6月23日</td> <td>G8 北海道洞爺湖サミット 外人プレスツアー- 2 陣</td> </tr> <tr> <td>7月12日</td> <td>「まちかど対話」高橋はるみ道知事 視察</td> </tr> <tr> <td>7月14日</td> <td>鳥取県議会議員 行政視察 1 名</td> </tr> <tr> <td>7月16日</td> <td>「有機ハイドライド化」報道公開実験</td> </tr> <tr> <td>8月 6日</td> <td>青少年体験活動推進事業「ジュニアリーダー」</td> </tr> <tr> <td>8月 7日</td> <td>北海道教育局 吉田教育長 視察</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	視 察 日	視 察 者	6月 6日	三重県 鈴鹿市議団（政友会）一行	6月29～30日	鹿児島大学名誉教授 藤田晋輔 氏	7月 6日	佐賀県 唐津市議団（唐創会）一行	8月 6日	二階経済産業大臣・武部自由民主党幹事長	9月 6日	豊富町理科担当教職員	9月22日	立命館慶祥高等学校3年 香林友萌さん	10月19日	福岡県議団（景気雇用対策特別委員会）	11月 1日	北海道大学文学部4年 鹿野道生 氏	11月 8日	八戸工業大学 教授 熊谷浩二 氏	11月12日	林-ツ地域I社 [®] -環境教育研究会	視 察 日	視 察 者	7月12日	NEDO 技術開発機構北海道支部長	7月25～27日	葛巻町新エネルギー導入先進地視察	8月23日	群馬県 太田市小中学生交流事業	8月30日	I社 [®] -コミュニケ-ター事業 稚内市教育研究大会	9月 4日	市政功労者の会・受勲者の会	9月15日	スターリング・カレッジ（米・パーモント州）	9月23日	北海道地球温暖化防止活動推進員研修会	10月 3日	稚内高等学校定時制2学年 総合学習	10月15・16日	稚内市立潮見が丘中学校2年生 総合学習	10月25日	林-ツ新I社 [®] -技術開発推進機構（北見市）	11月 6日	北海道経済産業局、NEDO 技術開発機構、稚内市	視 察 日	視 察 者	5月15日	G8 北海道洞爺湖サミット事前広報外人プレスツアー-	6月23日	G8 北海道洞爺湖サミット 外人プレスツアー- 2 陣	7月12日	「まちかど対話」高橋はるみ道知事 視察	7月14日	鳥取県議会議員 行政視察 1 名	7月16日	「有機ハイドライド化」報道公開実験	8月 6日	青少年体験活動推進事業「ジュニアリーダー」	8月 7日	北海道教育局 吉田教育長 視察			
視 察 日	視 察 者																																																																		
6月 6日	三重県 鈴鹿市議団（政友会）一行																																																																		
6月29～30日	鹿児島大学名誉教授 藤田晋輔 氏																																																																		
7月 6日	佐賀県 唐津市議団（唐創会）一行																																																																		
8月 6日	二階経済産業大臣・武部自由民主党幹事長																																																																		
9月 6日	豊富町理科担当教職員																																																																		
9月22日	立命館慶祥高等学校3年 香林友萌さん																																																																		
10月19日	福岡県議団（景気雇用対策特別委員会）																																																																		
11月 1日	北海道大学文学部4年 鹿野道生 氏																																																																		
11月 8日	八戸工業大学 教授 熊谷浩二 氏																																																																		
11月12日	林-ツ地域I社 [®] -環境教育研究会																																																																		
視 察 日	視 察 者																																																																		
7月12日	NEDO 技術開発機構北海道支部長																																																																		
7月25～27日	葛巻町新エネルギー導入先進地視察																																																																		
8月23日	群馬県 太田市小中学生交流事業																																																																		
8月30日	I社 [®] -コミュニケ-ター事業 稚内市教育研究大会																																																																		
9月 4日	市政功労者の会・受勲者の会																																																																		
9月15日	スターリング・カレッジ（米・パーモント州）																																																																		
9月23日	北海道地球温暖化防止活動推進員研修会																																																																		
10月 3日	稚内高等学校定時制2学年 総合学習																																																																		
10月15・16日	稚内市立潮見が丘中学校2年生 総合学習																																																																		
10月25日	林-ツ新I社 [®] -技術開発推進機構（北見市）																																																																		
11月 6日	北海道経済産業局、NEDO 技術開発機構、稚内市																																																																		
視 察 日	視 察 者																																																																		
5月15日	G8 北海道洞爺湖サミット事前広報外人プレスツアー-																																																																		
6月23日	G8 北海道洞爺湖サミット 外人プレスツアー- 2 陣																																																																		
7月12日	「まちかど対話」高橋はるみ道知事 視察																																																																		
7月14日	鳥取県議会議員 行政視察 1 名																																																																		
7月16日	「有機ハイドライド化」報道公開実験																																																																		
8月 6日	青少年体験活動推進事業「ジュニアリーダー」																																																																		
8月 7日	北海道教育局 吉田教育長 視察																																																																		

項目	記入項目	記入欄	事務局欄
取組姿勢	<p>総合的な普及啓発活動（または普及啓発活動及び新エネルギー導入）の計画について</p> <p>（申請案件が総合的なビジョンまたは計画に基づいて実施された普及啓発活動（または普及啓発活動及び新エネルギー導入）であるか）</p> <p>下記項目の該当するものについて記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 導入計画または活動計画の有無および概要 <ul style="list-style-type: none"> 開始時期 計画期間 導入目標 他の導入活動内容 	<p>新エネルギー研究会は日本最北端という地域特性を活かした風力あるいは電気の特性である低温や低湿度での高効率化という有利性を考慮した太陽光発電など新エネルギーを活用した街の再生に取り組んできました。その地球環境に優しいクリーンなエネルギーを活用して近未来社会における水素利用という新しい取り組みもロードマップに示し実行してきました。</p> <p>今後はそのロードマップに計画し、建設することができた“風のがっこう・稚内”センターハウスを拠点とし、新エネルギー最先端都市にするための普及啓発活動を推進します。さらには環境教育学習施設としても活用する計画であり、子供たちに夢と希望を与え、優れた人材を育てる施設にしたいと考えます。</p>  <p style="text-align: center;">“風のがっこう稚内”センターハウス</p> <ul style="list-style-type: none"> 稚内北星学園大学 太陽光パネル設置事業 <ul style="list-style-type: none"> 新エネルギーの種別：太陽光発電 導入時期：平成 21 年度 7 月～ 導入容量：約 400kW/h 発電または利用状況：大学での利用によるエコキャンパスとしての魅力を発信し、一部は市民ファンド方式による住民意識の高揚と投資を促す。 風力発電（励磁電源*）や太陽光発電などクリーン電力を利用した水素製造プラント施設の建設。 <ul style="list-style-type: none"> 新エネルギーの種別：風力発電や太陽光発電を利用した水素製造施設の建設 導入時期：平成 23 年度～ 導入容量：100Nm³/h 級 発電または利用状況：水素製造をすることにより、 <ul style="list-style-type: none"> 燃料電池の普及 容器に充填して販売 有機ハイドライド化し液体で運搬 など水素社会の先駆的なエネルギー供給基地となりうる。 <p>* <small>れいじでんげん</small> 励磁電源：現在の風車の起動電力は商用電力を利用しているが商用との系統を切断して単独運転させること。</p>	

項目	記入項目	記入欄	事務局欄
取組姿勢	<p>申請案件以外の新エネルギー導入について (あればその概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーの種別 ・導入時期 ・導入容量 ・発電または利用状況、等 	<p>・低温凍結熱媒による氷点下貯蔵庫の実証実験</p> <p>新エネルギーの種別：雪氷冷熱 導入時期：平成 17 年度～ 導入容量：特になし 発電または利用状況： 貯蔵庫の窓を開けておいて、冬季間の自然の冷気を利用して大量に氷を作ります。貯蔵庫は厚い断熱材で覆われており、春から秋まで庫内を3 ～ 5 に保ち農産物などの貯蔵に利用するための実証実験を行います。 地元産のカニ、ホタテなど水産物の氷点下貯蔵や生ハムの熟成実験などを行いました。</p> <div style="text-align: center;">  <p>稚内声間に建つ貯蔵庫</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> <p>幹事である菊池 工さん(山本建設(株)社長)がプロジェクトリーダーとなり、NEDO と(株)大林組の実証実験に協力している。</p>	

項目	記入項目	記入欄	事務局欄
団体について	<p>団体の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組織、体制 ・ 経済的基盤、等 	<p>会 員 数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 団体会員（稚内市・企業・団体） ... 48 ・ 個人会員 ... 166 <p>（平成 20 年 4 月 1 日現在）</p> <p>会 費</p> <p>団体会員：36,000 円（年 額） 個人会員：1,000 円（年 額）</p> <p>組 織</p> <p>平成 17 年 12 月 9 日に環境省総合環境政策局長より、「環境と経済の好循環のまちモデル事業要綱の要件を満たすまちづくり協議会としての承認を受けた。（地球温暖化対策地域協議会第 00103 号）</p>  <p>別紙参照：稚内新エネルギー研究会顧問名簿 稚内新エネルギー研究会役員会名簿</p>	

項目	記入項目	記入欄																									
補助金制度の利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金の名称 ・補助元 ・補助率 ・金額等 	<p>1) 環 境 省</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金の名称 : ~ 環境と経済が好循環するまちモデル事業 ~ 「風と燃料電気で築く環境最先端のまちづくり」 ・補 助 元 : 環 境 省 ・補 助 率 : 67% ・金 額 : ￥ 92,348,728 - <table border="1" data-bbox="582 571 1345 660"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成17年</th> <th>平成18年度</th> <th>平成19年度</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>55,510,000</td> <td>55,273,092</td> <td>22,600,000</td> <td>133,383,092</td> </tr> <tr> <td>うち交付金事業</td> <td>37,000,000</td> <td>36,848,728</td> <td>18,500,000</td> <td>92,348,728</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 環 境 省</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金の名称 : 環境と経済が好循環するまちモデル委託事業~ ・補 助 元 : 環 境 省 ・補 助 率 : 100% ・金 額 : ￥ 11,162,500 - <table border="1" data-bbox="582 963 1353 1025"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成17年度</th> <th>平成18年度</th> <th>平成19年度</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託事業費</td> <td>4,500,000</td> <td>4,162,500</td> <td>2,500,000</td> <td>11,162,500</td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 北 海 道</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金の名称 : 平成17年度地域政策総合補助金 ・補 助 元 : 北海道(宗谷支庁) ・補 助 率 : 50% ・金 額 : ￥ 356,000- <p>4) ニトリ財団</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金の名称 : 「環境学習を通じた人材育成と地域づくり 活動の拠点づくり」 ・補助元 : ニトリ財団 ・補助率 : 100% ・金 額 : ￥ 216,000 - 		平成17年	平成18年度	平成19年度	合 計	事業費	55,510,000	55,273,092	22,600,000	133,383,092	うち交付金事業	37,000,000	36,848,728	18,500,000	92,348,728		平成17年度	平成18年度	平成19年度	合 計	委託事業費	4,500,000	4,162,500	2,500,000	11,162,500
	平成17年	平成18年度	平成19年度	合 計																							
事業費	55,510,000	55,273,092	22,600,000	133,383,092																							
うち交付金事業	37,000,000	36,848,728	18,500,000	92,348,728																							
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	合 計																							
委託事業費	4,500,000	4,162,500	2,500,000	11,162,500																							
受賞歴について	<ul style="list-style-type: none"> ・賞の名称 ・表彰元 ・賞の種類 ・受賞の時期 	<ul style="list-style-type: none"> ・賞の名称 : 「温暖化防止 一村一品応援プロジェクト」 ・表彰元 : 北海道地球温暖化防止活動推進センター (財団法人 北海道環境財団) ・賞の種類 : 優良表彰 ・受賞時期 : 平成19年 9月27日 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;">資料5</div>																									

普及啓発活動の要約 (A 4 判)

普及啓発活動の名称	『最北端から最先端へ』 新エネルギーの活用モデルとなる地球環境に 優しいまちづくり	分類番号
申請者の名称	稚内新エネルギー研究会	事務局記入

先進性

稚内新エネルギー研究会は、低炭素社会実現の先駆的な取り組みとして、水素社会の到来を標榜しており、風力と太陽光などの新エネルギーを活用した水素製造（水電解方式による水素製造で炭素を出さないためグリーン水素と呼んでいる）による寒冷地用燃料電池システムを構築しその普及啓発活動に努めている。

また、札幌商工会議所との共同で、稚内の風力で作られた水素を有機ハイドライド溶液（メチルシクロヘキサン）の中に吸蔵し、札幌まで運搬した後、有機ハイドライド自動車を走らせるデモンストレーションを実施した。

このことは風力や太陽光などの自然エネルギーの利活用において新しい取り組みを示唆するものであり、低炭素社会実現における水素社会到来に、より近づく先進性のあるものとする。



普及啓発性

新エネルギー研究会のビジョンの原点は日本最北端に1年中吹く強い風にある。特に日本最北端の地“宗谷岬”では1年を通じて平均風速 7.5m/h を超える風が吹いており、時には厄介者である。それを逆手にとり「風のまち」という地域特性を活かした風力発電を推進することで、温暖化防止に寄与する新エネルギーの導入を啓発し、地球環境に優しいまちづくりを目指している。特に新エネルギーの短所である発電の不安定さを解消するため、そのエネルギーを水素エネルギーに変換することによる安定供給と利活用にも取り組んでいる。

また新エネルギー研究会の太陽光発電所建設の要望活動が実り NEDO 技術開発機構が主管して北海道電力(株)と稚内市が委託先となって取り組んでいる「大規模電力供給用太陽光発電系統安定化等実証研究」(完成時の出力 5,000kW/h)の影響もあり、住民からパネルの設置希望が相次いでいる。地元企業とパネルメーカーとの代理店契約も実現し、様々な業種の企業が連携して情報共有するために「稚内太陽エネルギー協会(仮称)」を設立する準備も進んでいる。

本年7月7日から3日間の日程で行われた北海道洞爺湖サミットの会場には、現在建設中の稚内メガソーラー(仮称)から、すでに発電をしている電力をグリーン電力という形で供給することも研究会から提案させていただき実施することができた。提案を受け付けていただいた北海道経済産業局が経済産業省を通じて

稚内新エネルギー研究会 役員名簿 (H20.4.1 現在)

稚内新エネルギー研究会顧問名簿

	名前	所属	役職
1	横田 耕一	稚内市	市長
2	市川 勝	北海道大学	名誉教授
3	牛山 泉	足利工業大学大学院工学研究科	学長・教授
4	柏木 孝夫	東京工業大学統合研究院ソリューション研究機構	教授
5	鴨志田 隼司	芝浦工業大学工学部	教授
6	佐々木 政憲	稚内北星学園大学	学長・教授
7	関 和 市	東海大学総合科学技術研究所	教授
8	張江 洋直	稚内北星学園大学情報メディア学部	学部長・教授
9	朝倉 堅五	株式会社エコ&エナジー	代表取締役

稚内新エネルギー研究会役員会名簿

役 職	名 前	所 属
顧 問(*)	佐々木 政憲	稚内北星学園大学学長
	張江 洋直	稚内北星学園大学情報メディア学部長
会 長	長谷川 伸一	長谷川建設(株)
副会長	菅原 耕	宗谷地方石油業協同組合
	石塚 英資	石塚建設興業(株)
幹事長	林 靖二	林建設(株)
幹 事	関 和浩	北海土建工業(株)
	佐藤 国房	(株)佐藤組
	中田 宏樹	北新道路(株)
	菊池 工	山本建設(株)
	臼井 立身	日商岩井マテリアル(株)
	井上 三知	(株)花のいのうえ
	鳥取 広志	(有)北都工芸社
監 査	半沢 幸夫	(株)桜井電業所
	片野 圭五	稚内信用金庫
オブザーバー	西沢 了	稚内開発建設部地域振興対策室長
	斎藤 正彦	宗谷支庁商工労働観光課長

稚内新エネルギー研究会はチ・ム・マイナス6%に参加しています。



みんなで止めよう温暖化

チ・ム・マイナス6%

	安田 郁夫	稚内土木現業所企画調整室長	
プロジェクト リーダー(**)	三浦 規光	三浦電機㈱ 「最北のまほろばプロジェクト」 (サブリーダー)	
	菊池 工(兼務)	山本建設㈱ 「低温凍結熱媒と雪氷による氷点下貯蔵庫の 実証試験プロジェクト」	
	林 靖二(兼務)	林建設㈱ 「北のてっぺん緑化プロジェクト」	
事務局	事務局長	東海林 到	稚内市地域振興課長
		川野 忠司	稚内市地域振興課まちづくり・環境G 主査
		小熊 二郎	稚内市地域振興課まちづくり・環境G 主査
		南 幸正	長谷川建設㈱

(*)出席可能な稚内在住の顧問のみをメンバーとしている。

(**)プロジェクトリーダーはプロジェクト進捗の報告等のため、会長の求めに応じ、役員会に出席する。

6) 事務局

【 本 部 】 稚内市役所総務部地域振興課

【 事 務 所 】 長谷川建設株式会社 内

